## 目 次

## 第1部 個別学説史、科学論・ヒストリオグラフィー

## 第1章 ヒストリオグラフィー・地域

序説:科学史は進歩の物語なのか4	38
科学史: 学問としての科学史研究8	科学とキリスト教:神と自然と
【ヒストリオグラフィー】	人間40
科学と技術:科学の成果としての生産術	科学社会学:科学技術と社会の界面を提
10	える42
歴史の中の科学と技術の交流:各時代・	【地 域】
各分野の様相と深まる関係12	翻訳と知識の伝達:古代ギリシャ,アラ
実験:あるがままでは「ない」自然の	ビア,そしてルネサンス46
見方14	中心と周縁:イギリス編48
科学装置:観察と実験のツールの数々	中心と周縁:フランス編50
18	中心と周縁:ドイツ編52
グラフ・ダイアグラム:数量データを	中心と周縁:ロシア・ソ連編54
把握し計算する22	アメリカの科学:戦争・産業とともに
中世の科学:中世の大学と自然学24	成長し現代社会を形成する 56
ルネサンスの科学:古代科学の復興から	インドの科学:文法学の確立で実現した
近代科学の誕生へ26	長き研究の伝統58
17 世紀科学革命: 西欧近代科学の成立と	中国の科学:世界三大発明の発祥地
その意義28	60
科学革命論:科学におけるパラダイム	朝鮮の科学:南北分断国家の科学史的
転換30	前提62
科学観:科学は何のため32	バビロニア・エジプトの数学:記数法を
科学者:学問の自由と社会的責任の間で	中心に64
34	イスラームの科学 (アラビアを含む) : キ
自然:生きた自然・造られた自然36	リシャ科学の継承を越えて 66
機械論:機械としての自然とその限界	

## 第2章 数学・天文学・物理学

【空間・時間・物体】	素粒子:現代の素粒子像の変遷と
パルメニデスの衝撃:あるものはある,	標準模型の成立98
あらぬものはあらぬ70	熱力学, 統計力学: 不可逆な世界… 102
アリストテレスの世界と宇宙:天才的な	【数学における論証と計算】
調和のイメージ72	証明の発明:ピュタゴラス神話の崩壊
時間:時を計り位置を知る74	104
光学:近代以前のギリシャ・アラビア・	ギリシャ数学の発展:アルキメデスと
ヨーロッパ76	アポッロニオス 106
望遠鏡:より暗く,より遠方の天体を	アテネとアレクサンドリア:2つの
探して······ <b>78</b>	ギリシャ科学 108
近現代の宇宙論:太陽系の大きさ.	音楽と数学:
銀河の構造,宇宙の膨張80	科学史に音楽学は欠かせない 110
真空:空間と無をめぐる思索と	計算天文学の成立と発展:地球中心説
実験82	から太陽中心説へ 112
20 世紀の顕微鏡:原子レベルの世界を	占星術:天上と地上を結ぶもの 116
見る84	16 世紀の数学:継承と革新の豊かな
シミュレーション:科学の新しい方法の	混沌
登場86	代数学の展開:中世西洋から 17 世紀
【力とエネルギー】	まで120
力学の誕生と発展:運動と力をめぐる	微積分:ギリシャから 20 世紀まで
数学と哲学の交錯88	122
電磁気学:遠隔作用の説明から場の	19 世紀の数学:抽象化と厳密化の推進
理論へ90	124
相対性理論:時空と物質・重力を結ぶ	20 世紀の数学:数学の自省と自律の
理論92	世紀126
量子論:極微の不確定な世界94	統計学:統計数字の流布,統計法則の
放射能と原子核:極微の世界を解き	発見, そして正規分布 128
明かす光96	
- 4	41 W 11 -15 -41 W
第3章 化学・生	物学・地球科学
【化学・物質論】	近代化学のヘルモント主義的起源
錬金術:誕生,発展,そして終焉…132	142
冶金と鉱山技術:古代からの金属利用	パリ王立植物園と化学教授職:化学教科
136	書の出現と化学教授職の制度化… 144
医化学の出現:錬金術と医学の融合 138	フロギストン説とニュートン主義化学:
ヘルモント主義とボイル・ニュートン:	化学の思想史と社会史 146

化学親和力から周期表へ:ニュートン	
主義化学から近代化学へ 148	
化学革命:理論から実践へ 150	
化学における原子と分子:どの領域で	
必要になったか 154	
有機化学:合成と生体物質の探究… 156	
無機化学と分析化学:「不安定」な元素と	
共に160	
物理化学と量子化学:化学と物理学の	
界面164	
化学における法則:質量保存の法則,	
一定組成の法則,倍数組成の法則	
168	
原子論:古代ギリシャにおける出現から	
17 世紀における復興まで 170	
【生物・医学・生理学】	
古代ギリシャの人間観・生命観:自然	
哲学・医学・生物学の観点から… 172	
ガレノス:西洋古代最大の医学者と	
その遺産174	
アラビアの医学:いかに築かれ,	
今に伝えられたのか 176	
生気論:生命現象を説明するための	
ひとつの方法 178	
細胞:生命の単位180	
自然選択説:ダーウィニズム 182	
遺伝学:19 世紀後半から分子遺伝学の	
幕開けまで 184	
欧米における優生学の展開:夢の科学	
か人権侵害か? 188	
進化の総合説:進化論の新フレーム	
ワーク190	
<b>分類学</b> :自然の体系を求めて <b>192</b>	
生態学:「期待される」複雑系の科学	
194	
発生学:前成説と後成説 196	
ヒトの生物学:人種概念と人類学の起源	
198	
霊長類学:人間とは何かを知る 200	

	2
植物園:学術と実益の両輪 204	
動物園:近代動物園の誕生と展開… 200	5
博物館:世界のミクロコスモスから	
近代科学の基幹施設へ 208	3
細菌学:私たちの生命をとりまく微細で	ŝ
豊かな世界への視線210	)
ウイルス学:生命の新しい存在の探求	
212	2
ワクチンと予防接種:ジェンナーから	
反ワクチン運動まで 214	
免疫学:生体防御反応の解明 21	
解剖学:解剖の表象,解剖の場 218	
血液循環論:W. ハーヴィの立っていた	
「空間」220	
病院:疾病と生・介護・死 222	2
精神医療:宗教・精神病院・医学理論	
224	4
【自然誌・地球論・地球科学】	
ナチュラルヒストリーと鉱物・地理:	
自然を編む226	5
形成力:自然物を形づくる神の見えざる	
手228	8
	8
手	3
手	3
手	3 3 2
手	3 3 2 2
手	2 2 4
手	3 3 2 3 4 5
手	3 3 2 3 4 5
手	2 2 4 2 6
手	3 3 2 4 3 6 8
手	5830 25406 8 8 8
手	58 10 2 14 0 6 8 f 0
手	
手	
手	

..... 400

..... 406

目 次

うになったか	海洋学史:七つの海をめぐる学際的研究と国際連携	336 江戸時代の本草学:近世日本の ナチュラルヒストリー340	お雇い外国人:明治初期のお雇い科学 教師を中心に342 黒色火薬:江戸時代の火薬の生産…344
地球の内部構造:地震学による球殻構造 の探究	精密測定とロマン主義を通して織りな	第Ⅱ部 社会	会の中の科学
の探究	す地球像		学と社会
第4章 日之	本の科学史	ノーベル賞:指標としての性格 350	科学博物館:時代とともに変わる機能
		大学の成立:近代科学の担い手を	と役割374
帝国大学と近代日本の科学・医学・	おける基礎と応用 298	養成する制度として 352	博覧会と科学技術:産業振興と見世物 のあいだで370
工学・農学:日本型学問体系の誕生 	帝国の学術調査:制度と内実の断絶と 継承300	学会・科学アカデミーの誕生:研究交流 の制度化とその多様な実態 356	のめいたで
翻訳から自立へ:西洋近代科学の受容と	「科学の体制化  の実態: 科学技術政策の	日本学術会議:政府による権限縮小の	の場合378
解析がり自立へ・四件姓代科子の支付と 展開・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	整備302		シップロ 376 科学コミュニケーション:一方向の理解
西洋数学の受容と展開:日本からの寄与	登開 科学論の日本的展開:科学に賭けた夢	科学の言語:科学の「リンガ・フランカ」	増進型から双方向の参加型へ 380
四件数字の支替と成曲・日本がらいます272			科学技術への市民参加:対抗と共創の
	大衆文化の中の科学:人々の理想と現実	科学論文:研究成果の発信手段 362	諸相38
脚気:西洋型近代医学と米食 278		研究公正:研究不正への対応から	科学者の社会的責任:その時代区分と
細菌学・衛生学の導入と衛生の制度化:	仮説実験授業:実験科学として先駆けた	その先へ364	分類
学知と実践のはざまで 280	授業科学308	科学教育史:教育を切り開いてきた	科学と標準:計測単位から知識体系まで
進化論:日本の「受容史」を超えて	過誤と不正と醜聞:倫理的課題か構造的	科学教育 366	
282	問題か310	科学教科書:パラダイムをつくるもの	科学とジェンダー:白人男性中心主義
日本における優生学の展開:生物学・	和算の成立と発展:江戸の社会が生んだ	368	からの脱却 388
医学と社会 284	数学······312	<b>科学事例史法</b> :科学の本性について学ぶ	科学と疑似科学:線を引く様々な理由
ハンセン病:社会の中の病 286	和算から洋算へ:150 年の軌跡 316	370	390
日本の遺伝学:育種・生理遺伝・	江戸時代の天文暦学:西洋天文学知の	科学雑誌:研究成果の伝搬と普及… 372	
ルイセンコ 288	多様な自己化 318		
日本における重力・地磁気測定の歴史:	江戸時代の測量術:オランダの技術の	<b>然 6 音</b>	生命科学
フィールドとラボラトリーのあいだで	土着化······ 322	##	True his (I. I
290	江戸時代の医学:職業医師の成立と	組換え DNA 技術からゲノム編集へ:	ヒトの遺伝子改変:ヒトの体細胞/受精
地震学:「ローカル」と「グローバル」の	中・欧起源の医学の新たな展開… 326	国内外における規制枠組みの推移	卵への遺伝子治療と遺伝学的エンハン
せめぎ合い 292	江戸時代の化学:物質観の変遷から	396	スメント402
気象学・気象事業:帝国の科学 294	軍事科学へ 328	遺伝子組換え作物:社会との相互作用	生物特許:米国のプロパテント政策を
物性物理学・エレクトロニクス・情報	洋学(蘭学):鎖国下の西洋学術知識の	398	中心に40/
科学:物理から情報へ 296	受容332	ヒトの遺伝子診療:予測から介入へ	社会生物学論争:勝者は進化生物学か

江戸時代の自然観:オノズカラシカル

「化学の京都学派」とその周辺: 化学に

xiv

人工生殖技術:[子どもをつくる/ 「理想」通りに子どもをつくる] こと	生命の創造:物質から生命を生み出す 試み426	【地球科学と環境】 人新世:地球史と人類史が交差する	自然保護: 畏敬と管理498 化石燃料(石油, プラスチック):
************************************	サイボーグ: サイボーグ化する身体 428 生体認証: 個人を識別するテクノロジー 430 生命倫理: 生命をめぐる倫理的問題を	政治へ	大量生産・消費社会を牽引した資源
人体実験:近代医学と規制の展開… 414 献体と献血:モノとしての人体 416 臓器提供:愛と人権の間 418	扱う領域の誕生とその現代的課題 について432 性差の生物学:「女と男の違い」から	地球温暖化: 国際政治にかかわる科学 496	ひたされる人類 504
脳と人の死:人の死の基準とその根拠 	「個体」概念の問い直しまで 434 新優生学:生命操作と人間の生命の価値	第8章 科学	・国家・産業
動物実験:人間と動物の福利をめざして	### ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** **	蒸気機関と産業革命:動力の革命… 508 近代の製鉄業:科学はいかに産業と 関係したか	さらに合成繊維ナイロンの登場… 542 栄養の科学: 「健康」をめぐるポリティクス… 544 ルイセンコ遺伝学:実践との距離は 科学理論の正しさの基準か 546
第7章 科	·学と環境	交通と技術:自動車 518	製薬:経験的探索から「魔法の弾丸」の
【産業と環境】 公害:国と企業の責任を問う 442	林学と森林:自然資源保全の世界史 464	交通と技術:飛行機 520 農業の機械化:動力源の変化の中で 522	設計への創薬手法の発展 548 企業研究所:基礎研究重視から結果 重視へ 550
在業発展と地球温暖化問題: グリーン 経済への移行444	野生生物:科学技術がつくる「自然」 468	測定器・ゲージ:科学発展と現代社会の 技術的基礎 524	慈善財団と科学:大学と政府の間を補完 する
環境アセスメント: 予防的取り組みの 制度化 446	農薬と害虫:「天災」から「敵」へ 470	工作機械: 工業の基盤となる「機械を つくる機械」 526	第一次世界大戦と科学技術: 国家総力戦と新兵器の登場 554
廃棄物問題: 大量生産・大量消費社会を問う       448         再生可能エネルギー: 脱炭素社会への	肥料と土壌:生態系の要をめぐる科学と 実践472 生物多様性:自然保護・遺伝子資源・	塑性加工技術: 大量生産の基礎技術 	第二次世界大戦と科学技術: エスカレートする大量殺戮 556 科学技術動員:社会システムへの
展望····································	データベース···································		科学技術の包摂560 科学技術予算:時代を反映する制度
プロジェクト 452 大気汚染:汚染物質排出に伴う空気の 質低下 454	をめぐって·························476 捕鯨:伝統と産業······················478 【 <b>医学と環境</b> 】	まで	
質低ト	【医子と環境】 パンデミック:グローバル化と疾病 480	施水通信がらインターボッドへの収斂 	CBRNE 兵器: 無差別大量破壊兵器の 開発と使用・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
土壌汚染:汚染による影響の多様化 458	紫外線:科学・技術と社会の変化を 可視化する不可視光線 484	開発はドイツから始まった 538 養 <b>蚕</b> :産業としての養蚕雑種第一代の	デュアルユース: 軍事と民生の関係性を どう考えるか 568
【生物学と環境】 農学と農業:曖昧な領域の科学化… 460	【土木工学と環境】 ダムと治水:欧米と日本での展開… 486	利用······ 540 化学繊維の登場:再生繊維レーヨン	宇宙開発:東西冷戦と人類の夢 570 ビッグサイエンス:誕生の背景と特徴

	人工知能:知的な機械、自律的な機械
第9章	原子力
社会的実用化前の原子力の歴史: イマジネーションと科学 592 核分裂反応の発見:原子力利用に 現実味を与えた最初の発見 594 世界の核兵器開発:大量破壊兵器を 生み出した科学者の思考・奮闘・苦悩 596 日本における原爆開発:科学者の アイデアが戦況挽回兵器の夢を生んだ 600 平和的核爆発の利用論:巨大土木工事 から惑星間有人宇宙船まで 602 放射能(放射線)と被ばくの歴史: 世界 604 放射能(放射線)と被ばくの歴史: 日本 608 パグウォッシュ平和運動:核兵器と 戦争のない世界をめざして 610 原子炉の歴史:軽水炉型から核燃料 サイクルまで 612 核融合研究:研究者が追い求め続ける夢 614	世界の原子力開発の歴史:原子力の 軍事利用と「平和」利用の相互的 関係616 日本における原子力導入と原子力政策の 歴史:総花的技術開発から核燃料サイクルへの一極集中620 地域と原子力:集中立地を招いた日本的 構造624 原子力事故:その種類と特徴626 福島第一原発事故:国内初の過酷事故は どうして起きたのか628 反(脱)原発運動の展開:原爆投下から 福島原発事故後まで632 原子力の表済:表象のポリティクス 434 原子力の表象:表象のポリティクス 636 パブリックアクセプタンス: 社会的分断を生む言説構造638 原子力教育の歴史:原子力政策と 教育との関係640